保 護 管

■概　要

保護管はダクト用・配管用温度調節器の感温部を機械的、化学的な損傷から保護するため、液体容器、パイプなどに挿入して取り付け、その中に感温部を挿入して使用します。
化学作用の面から保護管を選定する場合は、保護管の腐蝕作用、電解作用(特にブライン溶液中で)の問題を併せて検討し、さらに高温度による影響なども考慮する必要があります。
保護管には、銅とステンレス鋼の2種類があります。特に腐蝕作用のあるところでの使用は、ステンレス鋼製品が適切です。

(注) 感温部の時定数を小さくしたい場合は、特殊グリスを保護管内に充てんすることにより、時定数の値を減少できます。このグリスには、シリコングリス(信越化学製品のG-30M、または相当品)をお勧めします。
ただし、形番J-315046A / Bおよび 形番315904A / Bの保護管には、すでに充てん物が入っています。上記のグリスの充てんは、不要です。

■仕　様

形　番	取付形式	材　質	最高許容圧力		最高許容温度	使用できる調節器、検出器	外　形寸法図
			70˚C	400˚C			
112624AA-J	ねじ込式	ステンレス鋼(SUS304)	2.06MPa	1.47MPa	調節器感温部の最高許容温度による	形番TY6800 形番TTY6800 形番TY9800	図1
315904A	〃	〃	〃	〃	〃	形番LY7201 形番LP914	図2
315904B	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J-315046A	〃	銅	0.98MPa		170˚C	〃	〃
J-315046B	〃	〃	〃		〃	〃	〃
Q281A-J	〃	〃	〃		135˚C	形番L6008	図3
189020B-J	フランジ式	ステンレス鋼(SUS304)	JIS20K定格		調節器感温部の最高許容温度による	形番TY6800 形番TTY6800 形番TY9800Z	図4

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。
本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。
特に　• 人体保護を目的とした安全装置　• 輸送機器の直接制御(走行停止など)　• 航空機　• 宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。
システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。
なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

⚠ 注　意

- 本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様の範囲内で使用してください。
  火災や故障の原因となる恐れがあります。
- 取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
- 本製品が不用になったときは､産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
  また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

■外形寸法

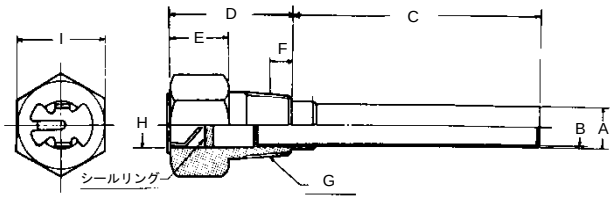


図1　外形寸法図

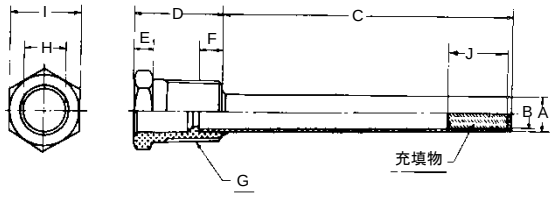


図2　外形寸法図

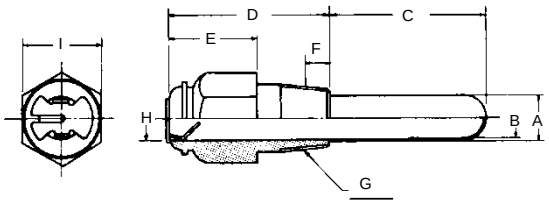


図3　外形寸法図

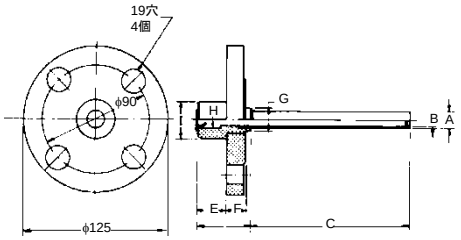


図4　外形寸法図

■取付例

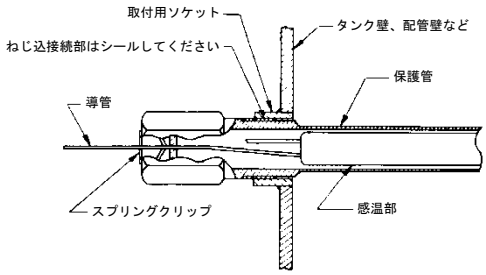


図5　ねじ込形保護管取付例

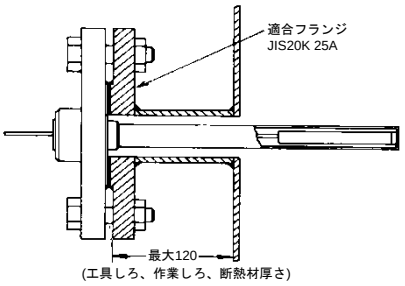


図6　フランジ形保護管取付例

形　番	外形寸法図	寸　法 (mm)									
		Aϕ	Bϕ	C	D	E	F	G	Hϕ	I	J
112624AA-J	図1	16	14	140	50	30	8	R1/2ねじ	14.3	23	
315904A	図2	12.7	11	361	29	5.5	8	NPT1/2ねじ	15	25.4	120
315904B	〃	12.7	11	158	29	5.5	8	NPT1/2ねじ	15	25.4	55
J-315046A	〃	12.7	11	350	35	6	8	R1/2ねじ	15	25	120
J-315046B	〃	12.7	11	148	35	6	8	R1/2ねじ	15	25	55
Q281A-J	図3	11.2	9.7	78	48	26	8	R1/2ねじ	14.3	23	
189020B-J	図4	17.3	14.3	229	46	24	16	21.5ϕ	14.3	30	

■取付条件と適用流速

●取付条件

(a) 曲がり管設置(天井から見た際の図)

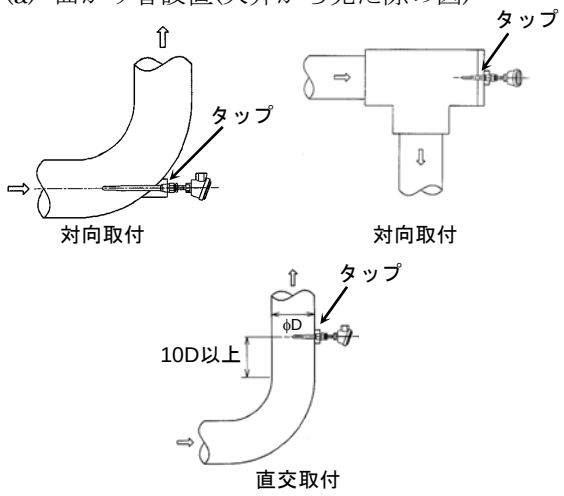


図7

(b) ストレート管設置

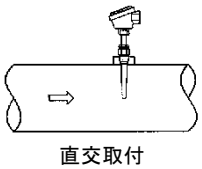


図8

(c) T継手＋ストレート管設置

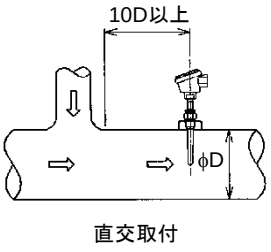


図9

(d) 絞り管路のある管への設置

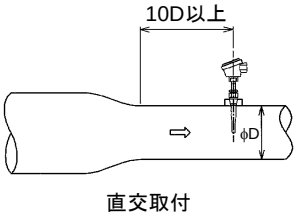
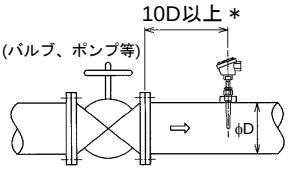


図10

(e) 他の設置機器がある時の設置



＊　10D以上であっても、渦流･衝撃流(脈流)等の影響がないことを確認し、設置してください。

図11

(f) ヘッダーへの設置

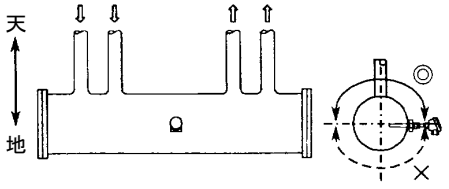


図12

●適用流速

形　番	適用流速
112624AA-J	4m/s以下
315904A	1m/s以下
315904B	3.5m/s以下
J-315046A	1m/s以下
J-315046B	3.5m/s以下
Q281A-J	6m/s以下
189020B-J	4m/s以下

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

http://www.azbil.com/jp/

[ご注意]　この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせ･ご相談窓口:ビルシステムカンパニー コールセンター
0120-261023
受付時間 9：00～12：00　13：00～17：30
土･日･祝祭日、年末年始、夏期休暇など弊社休業日は除きます。

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。

2015年6月　改訂A9.1版